



(題字 : 6 年 石井 彬)

令和3年9月8日

No.72 号

山形市立第四小学校
校長 日高 伸 哉

<児童数 196名>

TEL 623-6019

～ 9/7 (火) 校内 TV 放送による全校朝会・校長講話～

テーマは“澆刺(はつらつ)”

山形市民の歌の朗読と歌詞の一節から

澆刺^{はつらつ}とした2名の教育実習生を迎え、一週間が過ぎました。

朝夕、めっきり涼しくなりましたが、昨日は清々しい秋晴れとなりました。また、昨日は、二十四節気と言う「白露^{はくろう}」。大気が冷えて露がで始めるころです。季節の変わり目ですが、いちょうの子どもたちの姿にも、毎日“澆刺さ”を感じています。各学年・各学級が充実した二学期に向かっていきます。

昨日の校内 TV 放送による全校朝会で、次のような話をしました。

おはようございます。

6年たいよう学年の坂井さんのさわやかなあいさつで、清々しい一日が始まりました。今日の TV 全校朝会、はじめに、詩を朗読してみます。

暎 ^は まし ^の 都 ^市	光 ^は こ ^こ に ^{山形}	われ ^ら 誇 ^る 山形市民	この稔 ^り 日本 ^の いのち	とどろくは生産 ^の 歌	陽 ^に 映 ^{える} 新 ^し い道	美 ^わ し ^の 都 ^市	光 ^は こ ^こ に ^{山形}	われ ^ら 誇 ^る 山形市民	いそいそと摘 ^む は紅 ^花	山 ^寺 や芭蕉 ^の 夢 ^よ	おもいでは霞 ^城 のほ ^と り	澆 ^刺 の都 ^市	光 ^は こ ^こ に ^{山形}	われ ^ら 誇 ^る 山形市民	春 ^を 待 ^つ ひとみはも ^え て	西 ^の 空 ^{月山は呼^ぶ}	ひんがしに蔵 ^王 を望 ^み
---	---	-------------------------------------	--------------------------------------	------------------------	--	--	---	-------------------------------------	-------------------------------------	--	---------------------------------------	--------------------------------	---	-------------------------------------	--	--	-------------------------------------

皆さん、聞いたことはありますか。うなずいている人もいますね。

そう、皆さんが歌ったこともある「山形市民の歌」ですね。この市民の歌は、64 年の歴史（昭和 32 年制定）があります。本校の今の校歌は、70 年の歴史（昭和 26 年制定）があります。創立 110 周年の節目に、「市民の歌」や「校歌」に込められた言葉の意味やメッセージをしっかりと噛みしめたい、しっかりと心に留めたい、そう思います。

では、実際に山形市民の歌を聴いてみましょう。・・・素敵なメロディですね。

今日は、この市民の歌に出てくる言葉「澆刺（はつらつ）」をテーマにお話をします。「はつらつ」というのは、簡単にいうと「生き生きしている」ということです。皆さんは、どういう時、「生き生きしてる」と言いますか。思い浮かべてみてください。

いろいろと思い浮かびましたね。

・・・夢中になっている時。笑顔の時。ほめられた時。ああ、楽しいな。ああ、うれしいな。オーわかったぞ。そういう「くらし」がある時。自分の精一杯の力を出し切って、頑張って、ねばって、できた。わかった。やりきった。そういう時。・・・

では、その「生き生き」を失ってしまう時は、どんな時ですか？

・・・悲しい時。けがをした時。話を聞いてもらえなかった時。頑張ったのに上手くいかなかった時。絶交された時。いやなことを言われた時。仲間はずれにされた時。心を傷つけられた時。・・・

そうですね。「生き生き」を台無しにしてしまういけないことも、いろいろありますね。「悪口やいやがらせ」や「いじめ」もあります。皆さんの中に、そんなことをやっている人はいないと思いますが、かけがえのない「はつらつ（生き生き）」を粗末にする人がいたら、見過ごさないで下さいね。今年のいちょう児童会のスローガンのように「仲良く」を意識して、しっかり学んでゆきましょう。

中国のお話の中に、孔子という人がいて、その弟子が、この世で一番大切にしなければならないことは何ですかと尋ねた時、こう教えてくれたそうです。

【それ恕か、己の欲せざるところ、人に施すことなかれ】
(それは「恕（おもいやり）」です。自分がしてほしくないことは、お友達にしてはなりません。)

みんなが「はつらつ（生き生き）」するために、自分がしてほしくないことは、お友達にしてはいけません。「己の欲せざるところ、人に施すことなかれ」です。よりよい第四小学校、第四地区、そして、山形市にしていくために、とても大切なことです。

では、「山形市民の歌」や「校歌」を口ずさみながら、皆さんで「はつらつ」とした、「生き生き」とした「くらし」を、そして「地域」を創ってゆきましょう。

「山形市民の歌」は、市小学校音楽教室の開会セレモニーなどでも口ずさんでいます。ふるさとの「大切な歌」として、これからも末永く歌い続けてゆきたいものです。令和3年度、山形市制は132年の歴史を持ちます。本校は110年の歴史。一世紀を超え、発展し続ける山形市。そして、私たちの第四小。森厳たる思いです。